

## チームデータ

- 代表 西牧 正晴
- 監督 河野 勝人
- クラブ員数 27人
- 大会成績
  - ・全日本クラブ選手権大会 全国ベスト4 (2016年) 福島県大会 3連覇 (2015年～2017年)
  - ・JABA 東北地区連盟会長旗争奪野球大会 優勝 (2016年)
  - ・都市対抗野球福島県大会 3連覇 (2015年～2017年)
  - ・JABA 福島市長杯争奪野球大会 3連覇 (2015年～2017年)

## メンバー募集

- ・選手
- ・マネージャー
- ・チームドクター
- ・トレーナー
- ・サポーター会員 (法人/個人)

詳しくは、クラブ事務局へお問い合わせください。

TEL 574-2201 (担当: 佐藤)

Mail fit-baseballclub@cs.jp.fujitsu.com

輝いている人を紹介します

## まちのキラリ



# 富士通アイソテック ベースボールクラブ

保原工業団地に本社を構える富士通アイソテック株式会社。現在の会社の前身となる黒沢通信工業株式会社の操業開始(1957年)とともに軟式野球部を発足し、数々の功績を残しながらも2001年に活動を休止。2012年、富士通アイソテックや協力会社の社員有志で新たに結成した硬式野球のクラブチーム\*として活動を開始し、今年で6年目を迎える。

\*職業に関係なく有志のメンバーで組織するチーム。チームを運営する企業の社員のみで組織する「企業チーム」とは異なる。

間も練習に励み、迎えた2年目のシーズン。新たな選手も加わったチームは「全日本クラブ野球選手権福島県大会」へ初出場すると見事初優勝に輝いた。

さらに2015年には、同大会で東北ブロック第4代表として全国大会へ初出場を果たした。初めての全国大会は初戦敗退となったが「設立時からの目標としていた『全国大会出場』を達成できたことは、チームとしてさらなる高みを目指す良いきっかけとなった。」と河野勝人監督は語る。翌年、同大会で2年連続の全国大会出場を果たすと、全国ベスト4に輝いた。



伊達市まちなかワイナリー事業でボランティア活動を行う選手たち

設立当初から県内の硬式リトルシニアチームなどを対象とした野球大会や野球教室を開催している。また、市内外での植林活動や保原町にある授産所との交流など、活動は多岐に渡る。野球を通じて子どもたちと触れ合うことで、指導する選手自身も野球人として成長する。また、社会貢献をすることで、地域を支える社会人になろうという気

### 社会貢献に力を注ぐ

持ちが生まれるなど、チームが人間形成の場となっている。

こうした活動が評価され、今年開催の第88回都市対抗野球大会で、地域の活性化などへの功績が顕著なチームに贈られる「地域の元氣総務大臣賞」に準じる「奨励賞」に選出され、7月14日に表彰を受けた。

### 野球人の受け皿に

チームのこれからの姿について西牧代表に伺うと「指導を受けた子どもたちが大人になった時、野球をする場所として当チームを選び、地域を支える社会人として子どもたちに野球を指導する、という循環が生まれることを期待している。」と語った。これからの活動に注目したい。

## 強いチームではなく 愛されるチームを目指して

平日の夜、保原町にある富士通アイソテックの工場からは、木製バットの快音が響き渡る。昼間は、富士通アイソテックや協力会社の従業員、学校の教師などとして働きながら、夜になると月曜日を除くほぼ毎日、練習に励んでいる。

2012年の設立から6年目と日は浅いが、県大会優勝、全国ベスト4など輝かしい成績を残す強豪チームとなった。そんなチームの誕生には、ある出来事が深く関係していた。

### 野球で福島を元気に

2011年3月11日に発生した東日本大震災以降、放射能の影響により外でのびのびと遊ぶ子どもの姿が減った。それは、野球少年も同様であった。富士通アイソテックの執行役員であり、チームの代表を務



選手に声をかける西牧代表

める西牧正晴さんは、そんな現実と正面から向き合った。「自分たちを育ててくれた野球で社会貢献できないか?」「地域の活性化につなげられないか?」そんな思いで志をひとつにした数名の選手とサポーターで「強いチームではなく、愛されるチーム」を目指し設立された。

### 県内屈指の強豪チームに

設立1年目、メンバー不足のため公式戦に出場することはできなかった。その



### 《 応援お願いします 》

全日本クラブ野球選手権東北大会  
(8月11日⑤～13日⑥ 山形県)

[日時] 8月11日⑤ 11時30分試合開始

[場所] 鶴岡ドリームスタジアム

[対戦相手] 弘前アレッズ (青森県代表)